

※2011年の韓国・テジョン
開催の集合写真



「アジアサイエンスキャンプ 2012」

派遣生徒募集のご案内

アジアサイエンスキャンプはノーベル賞学者や世界のトップレベルの研究者による講演、講演者がリードするディスカッションセッションなどにより、アジアからの参加学生が直接科学の面白さを体験し、また学生同士の交流を深める場です。

2005年のリンダウ会議の際、小柴昌俊博士（2002年ノーベル物理学賞受賞者）とYuan T. Lee 博士（1986年ノーベル化学賞受賞者）の間で、アジアの若者のためにトップレベルの学者と若い学生の交流プログラムをはじめたいと発案されました。

これまで、台湾・台北（2007年）、インドネシア・バリ（2008年）、日本・つくば（2009年）、インド・ムンバイ（2010年）、韓国・テジョン（2011年）で開催され、第6回のアジアサイエンスキャンプは、2012年8月26日からイスラエル（エルサレム）で開催されます。

【派遣日程】 8月24日（金）～9月2日（日）

【会場】 イスラエル（エルサレム）

【対象】 物理、化学、生物、数学分野の科学に高い興味を持つ、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、大学校の生徒または学生（高2－大学2年相当）

※ 講義や参加者との交流は、全て英語で行います。

【募集】 12名程度

※ 高校生の派遣員を主として、大学生の派遣リーダーを若干名募集します。

【費用】 ASC 組織委員会および JST が負担し、基本的に無料

※ 派遣員に選ばれた方の費用負担は最寄り駅までの交通費のみです。

【締切】 2012年6月5日(火)必着

詳しくは、下記の派遣員募集のページをご覧ください。

<http://rikai.jst.go.jp/sciencecamp/asc2012/>

○アジアサイエンスキャンプ2012派遣員応募資格

【派遣員】下記の要件を満たす者。

- (1) サイエンスキャンプ開始時点で、日本国内の高等学校または高等専門学校の2～3年生と中等教育学校の後期課程の5～6年生であること。
- (2) 自然科学(化学、物理、生物学)または数学に高い意欲と秀でた能力を有し、英語による議論、講演など全日程に参加できる者。
- (3) 日本派遣団の一員として相応しい行動が取れる者。

【派遣員リーダー】下記の要件を満たす者。

- (1) サイエンスキャンプ開始時点で、日本国内の高等専門学校の4～5年生または大学、大学校の1～2年生であること。
- (2) 自然科学(化学、物理、生物学)または数学に高い意欲と秀でた能力を有し、英語による議論、講演など全日程に参加できる者。
- (3) 日本派遣団の一員として相応しい行動が取れ、派遣員をリードする役割を担える者。

○派遣日程(予定)

8/24(金)	集合受付・結団式	東京都内ホテル(未定)
8/25(土)～ 9/1(土)	成田空港→テルアビブ空港→ ASC2012会場	イスラエル ヘブライ大学(Hebrew University)
9/2(日)	テルアビブ空港→成田空港 空港内ラウンジにて解散式	(解散後各自帰宅)

問合せ先:

独立行政法人 科学技術振興機構(JST)理数学習支援センター(才能育成担当)
「アジアサイエンスキャンプ2012」派遣事務局
担当: 平川(ひらかわ)・中島(なかじま)
電話: 03-5214-7053 FAX: 03-5214-7635 Email: scamp@jst.go.jp